

北九州市民の会ニュース

平和資料館建設で出前講演— 質問や要望がたくさん

門司区民の会は、5月28日(火)大里東市民センターで、平和資料館建設について、市の出前講演を開催、21名が参加しました。

北九州市平和資料館担当課長の説明では、2020年度工事竣工をめざして、①貴重な市民の戦争体験や戦時下の暮らしの様子、戦後の復興を果たすまでの“まち”の変遷などを伝える。②二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう、市民一人ひとりが戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを考える機会を提供する施設にするとしています。参加者からは、戦時中・戦後の市民のくらしの様子を展示するのも大事だが、なぜ戦争が起こったかがわかる展示にしてほしい。門司港から200万人将兵が出兵し、100万頭の出征軍馬が船に乗って戦地に送られた事実など知らせてほしいなど、たくさんの意見や要望が出されました。



北九州地区労連第75回評議員会

6月7日、北九州地区労連第75回評議員会が開かれました。最初、新屋敷副議長の開会あいさつ、議長団に前田市職労書記長と大山学嘱労委員長を選出。来賓として日本共産党高瀬県会議員、山内市会議員からそれぞれ激励のあいさつを受けました。評議員会は、評議員会定数55人、出席評議員43人で成立。第1号議案「新規加入組合の承認について」永吉事務局長代行が提案し満場の拍手で採択、新しく加入が認められた北九州市バス労組浅岡委員長から「加入承認のお礼、これから市民の足を守るたたかいへの支援」を訴える挨拶があり満場の拍手が起こりました。その後、第2号議案「経過報告」、第4号議案「これからの取り組みと夏季闘争方針(案)」を永吉事務局長代行が提案、第3号議案「第3四半期収支報告」第4号議案「2018年度決算見込みと予算の更正」第5号議案「2019年度暫定予算(案)」について堀田事務長が提案。議案についての

質疑討論では、大島(全教北九州)、平安(福建労北九州)、健和(健和会労組)、三崎(北九市職労)、雪竹(JMITU八幡支部)の5人の評議から議案に対する補強意見が述べられ、すべての議案は満場一致で採択されました。大島副議長の閉会あいさつに続き細川事務局次長の音頭で団結頑張ろう、第75回評議員会は無事に終了しました。(堀田和夫氏FBより)



福島原発事故処理費用、なんと！81兆円 中野洋一氏が指摘、第2回憲法連続講座

6月8日(土)、9条の会・北九州憲法ネット主催第2回憲法連続講座には、29名の参加がありました。講師の中野洋一氏(九州国際大名誉教授)は「福島原発事故後の原発産業をめぐる大きな変化」と題して講演。中野洋一氏は、事故後の原発産業をめぐる状況での、3つの変化を指摘しました。①アメリカのシェール石油革命による、2014年からの世界石油価格の暴落 ②福島原発事故後の、各国の原発の安全基準の引き上げに対する原発建設費の高騰と、原発メーカーの経営難 ③2016年11月の「気候温暖化抑制のための再生可能エネルギーを推進するパリ協定」の発効です。これらの事態をめぐる、世界の動きを詳細に話しました。最後に、福島原発事故に関する今後の後始末に必要なお金の話になりました。政府が1兆円と試算していましたが、保守系と言われる民間の総合研究所が、なんと81兆円もの資金が必要であると予測しています。このことを聞いた参加者からは、驚きの声が上がりました。



平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

北九州社保協が総会と講演会

6月8日(土)、北九州市社会保障推進協議会が第24回総会と学習講演を開催しました。総会では、高木会長の挨拶に始まり、内田事務局長が経過報告・決算と今後の方針・予算案を一括説明し、承認されました。学習講演会は、長友薫輝氏(三重短期大学教授)が「地域の貧困と社会保障」について包括的なお話をされた。地域における貧困や孤立をどう把握し、どう支援していくのかという課題に取り組んでいかなければならない。



第40回八幡市民会館の活用を求める連絡会

6月12日(水)、上記連絡会があり、参加者全員が熱心に討論した。これまでの経過を確認し今後の方向性を検討した結果、一つは、長期的には、ゆるやかな新しい団体を立ち上げること、二つは、連絡会は発足時の原点に立ち、外観もホールも残すことを求め続けること。さらに、「八幡市民センターを埋蔵文化センターに用途変更すること」と「公共施設マネジメント実行計画の施行規則制定」についての公開質問状の回答に対する再質問について討論・検討しました。次回は、7月8日(月)、13:30、大谷市民センター



さよなら原発！350回に90名参加！

3月14日(金)、17時30分から19時まで、さよなら原発！金曜行動350回記念の宣伝行動が取り組まれました。雨が降っていましたが、350回記念ということで90名が参加、みんな元気にチラシを配り、署名活動をしました。棚次会長、深江事務局長はもちろん、田村衆議院議員、高瀬県会議員等も駆けつけ、次々にリレートークとうたごえ。大勢で賑やかに取り組むことができ楽しかった。最後はシュプレヒコールで閉めました。金曜行動は続く。さよなら原発が実現するまで。



第56回北九州母親大会

6月16日(日)、第56回北九州母親大会が、八幡西区響きホールで開かれ、530人が参加。会場カンパも103,271円が集約されました。健和看護学院1年生が参加、学生と母親運動の皆さんがともに学び、連帯し、よりよい社会を目指して力を合わせる大会となっているようで感動的でした。午前中は「北九州の空にある危機。オスプレイも飛んでくるー」など5つの分科会と無料年金相談会が開かれ、午後からは全体会。記念講演は、武蔵野大学志田洋子教授が「歌でつなぐ憲法の話ー憲法に託された夢と希求ー」と題してライブ&トークで、参加者を魅了した。運動交流は、労働者の闘い、消費税増税反対の闘い、辺野古新基地に土砂搬入反対の闘い、貴重な文化財を守る闘いなど10団体から訴えがありました。特別決議、大会宣言も満場一致で確認。会場から黒崎駅までのパレードには志田陽子さんも参加し、元気にコールしながら行進しました。



山下よしき副委員長演説会に1800人が参加

7月21日投票の参議院選挙まで36日、日本共産党福岡県委員会主催の講演会が、6月16日18時30分から小倉北区ソレイユ会館(旧厚生年金会館)で山下よしき副委員長を招き開かれました。講演会には、来賓として「市民連合ふくおか」共同代表の酒井嘉子氏、北九州市立大学の太平剛教授が参加し、野党共闘と日本共産党への期待をのべました。山下副委員長は、「消費税増税中止を訴え、賃金引き上げと長時間労働規制、学費半減、医療・年金の負担軽減と拡充、憲法9条を守りいかす、個人の尊厳を大切にしたい社会の実現」などについて解りやすく訴え、会場一杯の拍手に包まれました。(堀田和夫氏FBより)



さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

6月21日、6月28日

7月5日、7月12日